

目次

はじめに	I
高校生と交通教育	III
資料の特徴	IV
資料の構成	VI

[指導資料]

1. 交通社会人としての自覚はできている？	1
2. 自転車は歩行者？ それとも車両？	9
3. 路上ではみんなパートナー	21
4. 一時停止標識があるところでは 自転車も停まらないといけない？	29
5. 二輪車は、四輪車に見せる・見られる運転が大事	37
6. 車に乗せてもらうのは楽しい。でも危険もある	47
7. この画面の中にどんな危険がありますか？(自転車乗用中)	57
8. 事故にあったらどうする？事故を見たらどうする？	67
9. 違反や事故はあなたの人生設計に影響を与える	75
10. 高齢者とよいパートナーシップ	85
11. 上手に運転してるのに、危険な運転といわれる。どうして？	97
12. この画面の中にどんな危険がありますか？(原付運転中)	107
13. 事故現場であなたができること	119
14. 通学路の危険箇所マップづくり	129
15. 四輪車の免許を持つことは、プラス、マイナスの両面がある	135
16. エコロジーと車の運転	143
17. 路上でよいコミュニケーションをとれることが、 よいドライバーの大事な条件	151
18. 運転はいろいろなものに影響される	159
19. 友達を車に乗せるということは 友達の命を預かるということ	169
20. 車の速度と自己過信(四輪車)	177
21. この画面の中にどんな危険がありますか？(四輪車運転中)	205
監修者等と作成過程	216